

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・  
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

## 県政に新しい風を 福祉の現場出身 4児の父 おさし 金子武蔵 40才



自由民主党

かねこおさし  
**金子武蔵**

昭和53年7月30日(40歳)

略歴 宇都宮市立晃陽中学校卒業→栃木県立鹿沼高等学校卒業→ゴールデンウエストカレッジ卒業(米国)→中米クアテマラへスペイン語留学→工場で働きながら日本大学を卒業(通信)→障がい者施設で働きながら日本福祉大学を卒業→32才で宇都宮市議会議員選挙に挑戦(1484票)→介護施設で働きながら政治活動を続ける→36歳で再度、宇都宮市議会議員選挙に挑戦し、初当選(3271票)

渡辺さちこの新しい提言で新しい県政を!

3期目の挑戦!

見える・言える・聞ける政治へ

努力すれば報われる社会を!  
社会人・学生みなさまに

子育ても仕事も諦めず笑顔があふれる家庭を!  
子育て中みなさまに

生きがいと、安心・安全な地域を!  
シニア世代みなさまに

「NPOや企業等が主体となる協働の促進」  
「Uターン就職の促進」等を提言

「スクールカウンセラーの全校配置」  
「仕事と子育ての両立支援」等を提言

「自転車の交通ルール・マナーと自転車通行環境の整備」  
「シニア世代のいきがいづくり」等を提言

「好きな食べものは甘いもの・餃子・納豆」  
NPO法人「どんくろ」の活動で現場をつとめています

ママ議員として子育て支援にまよまよ奮闘中

性格は、面倒見の良い典型的な長女タイプ

NPO法人「全国教員がうたぐり」の会で理事をつとめています

趣味は、食べることと歌うこと

座右の銘は、温故知新

渡辺さちこプロフィール

1982年 宇都宮市生まれの36歳  
宇都宮保育園、宇都宮大学附属小・中を経て慶應義塾湖南藤沢高等学校、慶應義塾大学総合政策学部卒業  
英語教師(伊豆製)として子どもたちの指導に携わる  
\*栃木県議会史上初の20代女性議員として初当選!

2011年 第一子を出産

2015年 平成30年度生活保健福祉委員会副委員長に就任  
現在、子育てとの両立に奮闘しながらも「見える・言える・聞ける政治」を目指して活動中

36歳

自由民主党

昭和57年10月25日生

わたなべ  
**渡辺さちこ**

皆さまのご意見を  
お聞かせください!

ホームページ [www.watanabesachiko.jp](http://www.watanabesachiko.jp) ツイッター @watanabesachiko

フェイスブック [www.facebook.com/watanabesachikofan](https://www.facebook.com/watanabesachikofan) LINE @hrr8472c

渡辺さちこ事務所 〒320-0036 栃木県宇都宮市小幡1-1-32 TEL 028-637-8168 FAX 028-637-8162

安倍政権いなりNO! 国の悪政からいのち・くらしを守ります

野村せつ子への一票で地方から安倍政治に審判を

全国9位の財政力をもっとくらし応援に

4年前に県議に返り咲き、みなさんの声をまっすぐ県政に届けてきました。自民党が多数を占める県議会でも一人でもスジを通して頑張ることができず、安倍自公政権の悪政とキッパリと対決する日本共産党の議員だからです。9条改憲、消費税10%増税、原発再稼働、安倍政権の強権政治、地方への悪政押し付けを許さず、福祉と子育て、くらし最優先の県政実現に力を尽くします。みなさんの一票をどうか私に託してください。

●高すぎる国保税の値上げ許さず、公費1兆円投入で大幅引き下げを  
●県の制度を拡充し、18歳まで医療費は窓口無料に  
●市町を支援し学校給食無料化を  
●介護保険の負担軽減とサービスの拡充を  
●県版住宅リフォーム制度の創設を  
●中核市・宇都宮市に児童相談所を設置し、子どもを虐待から守る  
●市民合意のないRTPより市民のための交通整備を

10%増税はキッパリ中止に。アベノミクスで大儲けした大企業と富裕層に充分の負担を。  
9条改憲、海外で戦争できる国づくりにストップ。憲法9条をいかにした平和な日本に。  
原発ゼロの日本へ、再生可能エネルギーの普及を。東海第2原発の再稼働は中止を。  
県民投票で71.7%が「辺野古新基地に反対」。安倍政権は民意にしたがって中止の決断を。

前回 県議空白▷1議席を回復し県議会に討論「復活」

いないとき 2011.4~2015.3  
いるとき 2015.4~2019.3

本会議 討論3回  
本会議 討論77回  
野村 賛成51回

野村せつ子の1議席は、県民の声をまっすぐ議会に届け、議事を議をさくする力です。

日本共産党

野村せつ子ツイッター

【略歴】●武蔵野美術大学別科美術専修科卒、法律事務所、生協で働く。●県議会議員2期。党県委員会副委員長。さつき1丁目在住。

「消費税10%中止」「国保税引き下げ」の一票は野村せつ子へ

1953年2月3日生 66歳

日本共産党 野村せつ子

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・  
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

## 子育て世代の代表。若い力で笑顔あふれる栃木を

### 小池あつし ◆プロフィール◆

○1976年日光市小林生まれ、宇都宮市中今泉在住。県立宇都宮高校を経て、2001年東京大学文学部卒、09年白鷗大学大学院法務研究科修了。  
○民間企業を経て15年より福田昭夫衆議院議員秘書(政策担当秘書資格試験合格)、立憲民主党栃木県連合幹事。家族は妻と6歳になる長男。



- 1 働く者の声を届け、「働きやすいとちぎ」を
- 2 子育て・教育環境を充実し、「希望と未来をつくるとちぎ」を
- 3 地域の力を引き出し、「持続可能なとちぎ」を
- 4 お互いを尊重し支えあう「共に生きるとちぎ」を
- 5 生命と地域を守り、「安全・安心にくらせるとちぎ」を

生活と心のしあわせ実感へ  
私たちがロジエ世代は、社会に出る際、就職や仕事、生活するうえで厳しい現実にはさらされました。今は子育て世代として、待機児や保育制度の質の問題、子どもの貧困、仕事と育児との両立などの課題に直面しています。  
それゆえ、私たちは社会のセーフティネットづくりと弱い立場の方々に寄り添う政治の必要性をこの世代よりも強く感じています。だからこそ、政治を変え、栃木の未来を自分たちで拓きたいという思いを強くしました。  
「小池あつし」は5つの重点政策を掲げ、県民のみならず生活と心のしあわせを実感し、笑顔であふれる栃木をつくる決意です。笑顔こそ、明日への活力と安心感を生み出す源です。



立憲民主党

こいけ  
あつし  
小池あつし

一九七六年五月二十五日生(42歳)

立憲民主党・小池あつしは県民の声をボトムアップで届けます

### よしば 茂 プロフィール

作新学院高等学校 大東文化大学経済学部卒  
平成 27年 栃木県議会議員 初当選  
平成 30年 栃木県県土整備委員会 委員長  
県民公園福祉協会 評議員  
県ラグビーフットボール協会 会長  
県/パワーリフティング協会 会長  
県相撲連盟 副会長  
●大東文化大学ラグビー部主将 全国大学選手権出場  
●作新学院高等学校 教頭 生徒指導部長 ラグビー部監督  
全国高等学校ラグビー大会 8年連続出場(通算12回)  
関東高等学校ラグビー大会 10年連続出場(通算30回)  
●栃木県ラグビー協会 優秀監督賞  
●日本ラグビー協会 公認フリー 公認育成コーチ  
●栃木県教育功労賞 宇都宮市教育功労賞

## 輝くとちぎの未来づくりに 全力で応えます。

### 政 策

- |                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| ① 人生100年時代<br>全世代型健康長寿のとちぎづくり      | ④ 夢・希望が持てる<br>社会保障と共生社会の実現  |
| ② 子育て支援と元気で活力ある<br>青少年の健全育成とスポーツ振興 | ⑤ 農工商 産業観光振興による<br>とちぎの魅力創出 |
| ③ 自然災害に強い<br>県土インフラ整備と防災減災対策       | ⑥ 安心快適な<br>地域公共交通網の整備充実     |

# 決意と行動



自由民主党  
よしば 茂  
しげる

昭和24年4月10日生(69歳)

# よしば 茂

## 実現力 No.1 「安心・安全」へ全力! 栃木の未来を拓く!

**健康長寿の  
栃木を!**  
薬剤師である山口つねおは医療の充実・安全に全力投球  
●ジェネリック医薬品の普及、肝臓重症化予防の推進  
●ドクターヘリの導入実現、ドクターカーの導入推進  
●地域包括ケアシステムの構築と認知症対策の充実  
●危険ドラッグ乱用防止条例の制定

**安全で  
活力のある  
栃木を!**  
「現場第一主義」こそ山口つねおの信条です  
●「県総合スポーツゾーン」の整備をいち早く議会で主張し実現  
●「県総合スポーツゾーン」を災害救済物資などの集積拠点として整備  
●東京オリンピック・パラリンピックのハンガリー選手団の誘致に尽力  
●東武宇都宮線「西川駅」バリアフリー化予算化が実現

**子育てに  
やさしい  
栃木を!**  
教育費の負担軽減は山口つねおの一貫した主張です  
●幼児教育無償化、高校授業料無償化、給付型奨学金の拡大  
●第3子以降保育料無償化を実現

**青年の  
活躍する  
栃木を!**  
「一人も置き去りにしない」これが山口つねおの信念です  
●とちぎジョブモールの開設  
●不登校、ニートに悩む家族を支える相談窓口「ポラリスとちぎ」を開設

議会改革(歳費1割削減、定数2割削減、政務活動費5割削減)等で財源捻出

# 山口つねお

市議、県議として16年、全力で働いてまいりました。皆様には、多大なるご支持、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。医療、福祉をはじめ、頻発する災害に対応するため防災・減災対策に力をいれてまいりました。人口減少・超高齢社会に対応した地方創生や子育て支援にも、安心・安全をモットーとして命を守る取り組みに全力を注いでまいりました。任んでよかった、住みたい、そして住み続けたい栃木県、宇都宮市を必ずつくってまいります。山口つねおは、誰よりも苦勞をし、一人でも多くの方の声を形にし、より安心して安全に暮らせる栃木の未来を拓いてまいります。今後とも、ご支持、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

- 昭和38年11月 那珂川町生まれ(55歳) ●家族構成:妻、長男 ●県立大田原高校卒業
- 東京理科大学薬学部卒業 ●昭和62年 薬剤師資格取得、同年 テルモ(株)入社
- 平成15年 宇都宮市議会議員に当選 ●平成19年 栃木県議会議員初当選(県議3期)
- 党栃木県本部代表 ●健康長寿とちぎづくり県民会議委員

<http://www.komei.or.jp/km/tochigi-yamaguchi-tsuneo/>



公明党

山口つねお

昭和三十八年十月月生(五十五歳)

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・  
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

## 一緒につくろう “とちぎの未来”

# 中島ひろし



自由民主党

中島ひろし

昭和44年1月29日生(50歳)

- 昭和44年1月29日生まれ(50歳)砥上町在住。
- 作新学院(幼・小・中)から宇都宮工業高校精密機械科、国際情報ビジネス専門学校 経営本科を卒業。
- 参議院議員 岩崎純三事務所秘書として政治を学ぶ。
- 平成15年初当選。宇都宮市議会議員(2期8年)を勤める。
- 平成23年 栃木県議会議員に初当選(11,320票)
- 平成27年 栃木県議会議員2期目当選(12,641票)

### 主な役職

- 栃木県議会文教警察・県土整備・経済産業各委員会 委員長
- 自由民主党 栃木県支部連合会 青年局長
- 宮川第三小学校地域協議会 顧問
- 茨城の原中学校地域協議会 顧問
- 宇都宮市消防団 宮川分団 部長
- 栃木県フットボール連盟 会長

### 決意③ まちづくり

#### 郷土のために

豊かな水と緑に囲まれ、農産物に恵まれた「とちぎ」。食は生きるための源。人々の命を支える農業。「地産地消」の健全なシステムづくりに努め、「とちぎ」ならではの魅力ある農業の推進に努めます。

「災害が少なくない」といっては「とちぎ」の大きな魅力です。暮らしやすく、企業活動のしやすい「とちぎ」の魅力を活かして、企業誘致を推進し、雇用の創出を図り、地元経済の活性化を目指します。

日光世界遺産をはじめ、多くの観光資源に恵まれた「とちぎ」。これらのネットワーク化を図り、「観光都市とちぎ」を推進します。

### 決意④ こころづくり

#### 限られた資源と自然を守るために

「ゴミをまいたいてはならない」「ムダなく調理、残さず食べる」で作ってくれた人への感謝の気持ちを忘れない。こんな小さな心がけから環境保護が始まります。

ごみ減量化を推進。その処理費用の軽減に努め、地域ぐるみの自然環境活動の推進など循環型社会の形成に努めます。まずは、この素朴な思いと「とちぎ」の環境を守り、限られた資源と恵まれた自然環境の保護に努めます。



### 決意① ひとつづくり

#### 未来を担う子どもたちのために

子どもにとって家庭は最初の教育の場であり、親は最初の教育者。安心して子どもを安心して育てることができる環境づくりが、最初の一歩を支えます。そこで、幼児教育、義務教育、高等教育など年齢に応じた教育環境の充実、子どもたちの基礎学力の定着強化、健全な身体づくりの推進、「命の大切さ」「他を思いやる心」その中身の充実を実現します。

### 決意② 安心づくり

#### すべての人々のために

私たちが暮らす「今」を築いてくれた高齢者の皆さんが、安心して暮らせる地域づくりに努めます。介護施設への待機者解消をはじめ、介護サービスのさらなる充実を図り、ひとりでも安心して暮らせるネットワークを築きます。

障がいを持つ皆さんの生きがいづくりをはじめ、知的・身体・精神障がい等、それぞれの特性に応じた環境整備に努め、施設利用等、費用負担の軽減に努めます。

子どもの少ない今の時代に、不妊治療や出産費用の助成拡大や保育サービスの充実等、安心して出産・子育てができる環境づくりに努めます。

## LRT反対! 完全無所属 6歳と4歳の子育て奮闘中! だから絶対に「子どもにツケをまわさない!」

必死に挑戦し続ける西さんを、私たちも応援します!

- 内山優 JTR日本郵政改革協議会 会長 ●吉田寛 千葉商科大学教授 ●松本武洋 埼玉県和光市長 ●中村健 愛知県西尾市長 ●伊藤徳幸 三重県桑名市長 ●鈴木健一 三重県伊勢市長

納税者保護誓約書に署名しました!  
村田雄雄先生(元横浜国立大学学長/故ミゼーゼの日本人唯一の弟子)と櫻岡浩彦先生(元我孫子市長/元消費者庁長官)に立会人となって頂きました!

**西弘次事務所**  
宇都宮市今泉 4-14-5  
Web <https://nishi24.jimdo.com>

子どもにツケをまわさない!

**[PROFILE]**  
昭和44年3月兵庫県明石市生まれの50歳  
●宇都宮市立錦小学校、福北中学校、作新学院高等部を経て現在の大学卒業。百貨店勤務、紳士服メーカー勤務、市民団体職員、フリーのイベントディレクターなどを経て現在は民間シンクタンク「自治体政治総合研究所」代表 ●妻と6歳と4歳の子の4人家族 ●チャールズとお茶漬けとジンジャーエールは毎日でも嬉しいくらい大好き

今回の選挙から限定的ながら選挙中の政策チラシの配布が認められるようになりました。小さな子を持つ親の一人として、以前から音の問題で躊躇し悩んでいた「選挙カー」を自粛してみます。

民主主義の根幹である選挙の公約が曖昧でどうでも取れる文言だった。それも公約を守らないうえに、政治家や政治家が溢れかえっています。宇都宮市議会では旧民主主義系が説明責任も果たさず、結果として、LRTや成しに約束、市民を愚弄したは記憶に劣るかと思えます。

栃木県議会では自民、公明、(旧)民主、(旧)みんな、によるオール与党で、知事は何も成しなげに、議員も本音がどうもというの議論が機能不全である証拠です。全ての既存野党が増税とバラマキの社会、共産主義の経済政策を掲げ、ますます悪化する社会を築いています。そのツケの全てが、誰か誰かに誰か誰かにならなければならないというの議論が機能不全である証拠です。今の政治は、誰か誰かにならなければならないというの議論が機能不全である証拠です。今の政治は、誰か誰かにならなければならないというの議論が機能不全である証拠です。

私には、今選挙権を持たない子どもや孫の世代にこんな社会を残してはならない。私には、今選挙権を持たない子どもや孫の世代にこんな社会を残してはならない。私には、今選挙権を持たない子どもや孫の世代にこんな社会を残してはならない。私には、今選挙権を持たない子どもや孫の世代にこんな社会を残してはならない。



無所属  
西弘次

一九六九(昭和44年)三月二日生(50歳)

どんな時も  
あなたのために  
あなたとともに

# 山田みやこ

生活者の声を県政に届けます

山田みやこが目指す栃木

- 安全な食で健康に育む環境**
  - ・次世代に生物多様性と自然環境を残す
  - ・水の重要性を再認識し自然環境を守る
  - ・農業を使わない有機農業への積極的な転換
  - ・遺伝子組み換え作物はNO
- 子どもの貧困**
  - ・学校以外の安心できる学びの場の開設
  - ・適応指導教室の在り方と見直し
  - ・フリースクールの充実と支援
- 学校以外の学びの場の確保**
  - ・安心できる「居場所」の設置
  - ・「子ども食堂」の運営
  - ・フードバンクの更なる充実化
- 若者の孤立**
  - ・社会生活に適應できる居場所の整備
  - ・希望を取り戻す親と子への継続的な支援
- 女性の自立支援**
  - ・相談支援の専門職としての人材育成
  - ・心のケアのできるカウンセリングの充実化
  - ・自立のためのきめ細やかな継続的な支援
- 女性議員の進出・増加**
  - ・女性県議会議員 12%(50人中6人)
  - ・女性市町議会議員 8.4%(平成27年度総務省調べ)
  - ・生活現場の経験や知恵を持つ女性が30%を占め活躍できる議会を目指す

山田みやこ事務所  
栃木県宇都宮市上三川町336-1  
TEL/FAX 028-624-7385

皆様のご意見をお待ちしております  
ぜひお寄せ下さい

山田みやこ  
公式ホームページ  
<https://yamadamimiyako.jp>

山田みやこ  
と市民の会  
<https://www.facebook.com/yamadashin/>

様々な困難を抱え支援が必要な人達や、努力を惜しまず彼らを支える人たちの存在を目的に、学ぶことがたくさんあります。その中で、本人の責任というだけでは片づけられない、深刻かつ複雑化する子ども・若者・女性に関する問題があります。それらは「虐待」「DV」「性暴力」「ひきこもり」などです。このような状況に置かれた人達には、将来の希望や夢が持てません。さらに、自分たちの置かれた状況を伝えるSOSの声さえ出せず、たとえ発したとしても多くの人達に届いていないのが現状です。今こそ、この問題の解決に真剣に取り組む、全ての県民が「住んでいて良かった」と思える未来ある県にすることが私の使命だと強く考えます。



無所属  
山田みやこ

昭和三〇年八月十一日生(六十三歳)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・  
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

### つづら人プロフィール

●昭和34年5月22日、宇都宮市生まれ。栃木県立宇都宮高等学校を経て、中央大学法学部政治学科卒。宇都宮市議会議員2期を経て、現在、栃木県議会議員。自民党栃木県連政調会長として栃木県民のために全力投球！愛妻家、お祭り好きのつづら人！

### 主な経歴

- ふるさと畜まつり実行本部統括責任者
- 宇都宮青年会議所特別理事
- 栃木県動物愛護PTA松の会会長
- 宇都宮市立中央小学校PTA会長
- 宇都宮市立中央中学校PTA理事
- 宇都宮商工会議所青年部副会長
- 宇都宮市議会議員(平成7年より2期)

### 栃木県議会

- 第10代栃木県議会議長
- 土木常任委員
- 安全で安心な社会づくり対策特別委員会委員長
- 県政経営委員会委員長
- 栃木県議会議政調査委員会委員長
- 栃木県監査委員
- 栃木県議会自由民主党議員会事務局長

### 現在の主な役職

- 自民党栃木県連政調会長
- 私学振興議員連盟会長
- 私学教育支援センターの会長
- 栃木県子ども・子育て推進委員会
- 栃木県都市計画審議会委員
- 社会福祉推進議員連盟副会長
- 栃木県保健医療推進委員会

### その他

- 栃木県水産連盟会長
- 栃木県ゲートボール協会副会長
- 宇都宮市スポーツ振興会会長
- 栃木県フットサル連盟会長
- 栃木県競馬式射撃連盟幹事
- 栃木県高等学校連合会連合教育振興会会長
- 二荒山神社神楽保存会理事
- 栃木県立宇都宮高等学校同窓会常務理事
- 栃木県南農工士会理事
- 宇都宮ホテル旅館協会の副会長
- 宇都宮羊飼料協会の副会長
- 栃木県印刷工業協会の副会長

## 全力投球！ 実行します今、元気度・日本一 とちぎ県

# つづら昭人

人口減少の克服と地域活力の維持をするには、とちぎの強みを生かした産業の振興、移住・定住対策や少子化対策等を積極的に推進しなければなりません。県議会には、政策立案能力、立法能力として高度な専門能力が要求されます。つづら昭人の経験と実績を生かすときは「今」です。

## つづら昭人 未来に飛躍する栃木の底力プラン

### 景気・産業の活性化プラン

- 新事業創出と経営刷新に対する支援
- 制度融資の強化・拡大、国の景気・雇用対策に対する働きかけ
- 業種で魅力ある市街地の再開発、空き店舗対策
- 中小工業等の支援、不況業種に対する重点的支援
- 地域の雇用を守り、災害、除雪など「地域の守り手」である建設業を支援
- 働き方改革に対応 ●産業団地の整備と企業誘致そして観光誘客の推進
- 障害者雇用の促進 ●「農芸大ととちぎづくり」の着実な推進

### 栃木っ子プラン

- いじめ・不登校防止、児童虐待の未然防止と早期発見・早期対応
- 子どもが暮らす家庭への重点支援 ●少人数学級の推進
- 幼児教育無償化、さらなる保育環境の充実、私学振興と公教育の再生
- とちぎの子ども・子育て支援条例の推進
- 教員採用試験の見直し ●教育委員会組織の抜本的改革
- 新スタジアム・新アリーナ等スポーツ施設を活用した「とちぎ」の情報発信と街づくり
- 団体から未来への競技力向上



自由民主党

つづら昭人

昭和34年5月22日生(59歳)

## 一人のために 地域のために 行動力No.1

市民相談1,600件以上、地域実績200件以上

- ### 主な実績
- ①子ども医療費(中学3年生まで)無料化
  - ②第3子以降保育料無償化実現(所得制限なし)
  - ③子ども・若者ひきこもり相談センター開設を推進
  - ④就労支援機関「とちぎジョブモール」を開設
  - ⑤県独自の被災者支援制度を創設
  - ⑥県企業局に地方公会計制度を導入し、負債削減
  - ⑦県立高校にエアコン設置とエアコン電気料のPTA負担をゼロへ
  - ⑧栃木県初のドクターヘリ導入を推進
  - ⑨モニタリングポスト(放射能測定器)を全市町29ヶ所に設置

私はこの2期8年間、「一人のために 地域のために」を政治モットーに全力で働かせて頂きました。これからも「人が輝く宇都宮市・上三川町」の実現のため、誠実に皆様の声に寄り添い、栃木の未来を拓いてまいります。

- ### 目指します
- ①ドクターカーの導入促進
  - ②学校教育の充実と教育環境の整備、教育費の負担軽減の推進
  - ③中小企業支援の強化(資金繰り支援、IT化など)
  - ④「地域包括ケアシステム」の構築
  - ⑤認知症総合支援と予防対策の強化
  - ⑥地域の防災・減災対策へ「防災教育」の推進
  - ⑦議会改革の推進
    - 議員歳費1割削減 ●議員定数2割削減(50→40人) ●政務活動費5割削減と領収書のネット公開
  - ⑧産業団地の造成と企業誘致の促進で雇用拡大

# のざわかず いち和

●昭和35年 宇都宮市屋敷町生まれ ●横川中央小学校、横川中学校、県立氏家高校(現・さくら清修高校)卒  
●創価大学法学部卒 ●平成17年 栃木セキスイハイム販売(株)取締役社長 ●平成23年 栃木県議会議員初当選(県選2期)  
【資格】宅地建物取引士、セキュリティアドバイザー

<http://nozawa-kazuichi.com/>



公明党  
のざわかず いち和

昭和二十五年十月三日生(五十九歳)

## パワーUP とちぎ戦略 築こう私達の未来を！

### 1. 豊かさ UP!

- 栃木を「ロボット県」に。電腦団地を。次世代自動車、ロボット、医療機器等の先端技術産業、AIやコンピューター産業の誘致と振興。中小企業、地産産業の振興。
- 「農は栃木県の基(もと)」  
コメ、とちぎ和牛、ゆめボーク、毒、團芋等の「とちぎブランド」を国内外に。農業従事者の高齢化や従事者UPのため最新の「スマート農業」導入を推進  
流通、金融、技術支援を全面的にバックUP。
- 県都宇都宮は再生可能エネルギー(太陽光、小水力、バイオ、風力等)で動く都市にする。  
地産地消エネルギーシティ

### 2. 安心 UP!

- 乳児から高校生までの保育、教育、医療費の無料化に取り組みます。  
小学校、中学校では文具、給食費、修学旅行費などは無料にすべき。  
特に、生活困難家庭の子どもへの教育支援 UP
- 健康長寿 UP、医療・介護・福祉の充実  
在宅医療人材の整備、救命救急医療の整備連携。回復期病床の施設。
- UDタクシー(ユニバーサルタクシー) 導入推進 あらゆる人にやさしい介護福祉車
- 防災(地震水害等)、防火などへの万全な備えの確立
- 廃墟、空家住宅の整理対策

### 3. 魅力 UP!

- 観光立県宣言 ～豊かな観光資源を活かす～
- 高速 Wi-Fi インフラ整備  
県内市街地、県民の生活スポットや県内各所観光地で『栃木どこでも Wi-Fi』を目指す
- 県内のエコカー、次世代自動車(EV、HVなど)の普及率UP
- 生活者環境に合わせたバス路線に転換させ、利用しやすい環境にする  
LRTと連携して、宮環線にHVシャトルバスを内回り外回りに運行させ、既存鉄道や幹線道路とのJC(接続広場)を設置する。
- 県内路線運行バスもEV化、HV化を促進し、CO2削減、空気を清浄にする
- 大谷地区を観光情報発信地となるように振興整備する
- とちぎの文化を県内外、国内外に発信「日光楽園祭りを全国レベルの祭りとなるように」
- 伝統文化(茶道、華道など)、伝統芸能(民謡、民舞、能、長唄、時珍、日舞など)、  
伝統工芸の振興、継承者の育成に取り組む

### 候補者プロフィール

慶應義塾大学法学部卒 故渡辺美智雄副総理・外務大臣秘書 栃木県空手道連盟会長 (社)日本警察犬協会栃木支部顧問 栃木県配葉業協議会顧問	血液型 B型 座右の銘 「夢は大きく 仕事はできるものから一つひとつ」
---	---



無所属

中川みきお

昭和二十五年十月二十日生(六十八歳)

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

宇都宮市・  
上三川町選挙区

栃木県選挙管理委員会

### 斉藤たかあきプロフィール

1972年2月 宇都宮市東山田に生まれる  
市立東小学校～同属北中学校～県立宇都宮高等学校を経て  
日本大学法学部政治経済学系卒業 現在、同市立伏町在住  
衆議院議員やなせ進事務所に入所  
1994年3月 参議院議員やなせ進事務所(～2007年2月)  
1998年7月 国会議員政策担当秘書資格を取得  
2005年10月 栃木県議会議員(宇都宮市・上三川町選挙区) 初当選  
2007年4月 栃木県議会議員(宇都宮市・上三川町選挙区) 再選(2期目)  
2011年4月 栃木県議会議員(宇都宮市・上三川町選挙区) 再選(3期目)  
2015年4月 栃木県議会議員(宇都宮市・上三川町選挙区) 再選(3期目)

**政界・各種役職**  
国民民主党とちぎ(栃木県東部連合会) 代表  
U A センター栃木県支部 政治顧問  
連合栃木議員懇談会 幹事長・連合宇都宮議員懇談会 顧問

赤穂栃木県陸自自動車連協同組合 顧問  
オール栃木アムレスリテック連盟 会長  
栃木県ポピュラー・フィットネス連盟 会長  
栃木県美術極楽連盟 会長・宇都宮市太極拳協会 会長  
宇都宮テニス協会 会長

栃木県立くら清高等学校PTA副会長  
宇都宮市立原田中学校PTA顧問(前会長)  
宇都宮市立原田小学校地域協議会 会長  
宇都宮市東地区体育協会 顧問

●家族は、妻と子3人(2女1男)そして愛犬♥ AB型。  
●スポーツ歴は、高校野球(小)ソフトテニス(中・高)軟式野球(大)、  
ゴルフは、都付倉い程度、最近、1日約1万歩のウォーキング!  
●空(特に練馬) 天体(特に流星群) 動物、植物、昆虫等、興味津々^^  
●音楽、石碑、神社仏閣等の歴史由緒や鉄道通、河川遊覧等の好き。  
●ラーメン、そば、うどん等、種類全般が好き^^ 酒は、平均以上(笑)  
●性格は、有言実行タイプ、自分では、即断即決タイプだと思っている。  
心身ともに、とにかくタフ!そして大胆!でも、意外に繊細かも...?

## 行動します!もっと元気な栃木県に!

栃木県議会議員候補者 国民民主党公認 **いつも身近な行動派!**

# 斉藤たかあき



国民 **こく**  
民主 **みん**  
党 **みん**  
Democratic Party For the People  
連合栃木推薦

### とちぎの明るい未来のために「リフレッシュ!とちぎ」3つの取組!!

- とちぎのビジョンを描く** 夢ある栃木に
  - 人口減少を克服! ニーズに即応!
  - 暮らしに安全・安心を! あらゆる分野のセーフティネットを確立!
  - 実力アップ&PR! 産業の活性化と新たな市場創造を!
  - 今、必要なものは何か? 持続可能な発展を!
- とちぎの議会をわかりやすく** 見える議会に
  - ためめ不断の自己改革!
  - 「議会基本条例」の制定を!
- とちぎの行政をチェック** しほをなくす
  - 普段からの心掛け! 健全財政を堅持!
  - 悪い立ったら、まず行動! 現場主義を徹底!

\*斉藤たかあきの活動はここでチェックできます。



国民民主党

さいとう  
**斉藤たかあき**

昭和47年2月23日生(47歳)

斉藤たかあきが、地域の声・暮らしの中の声・働く仲間の声を県政に届けます!

ふるさとが好き  
だから  
このまちのために  
働きたい

## まかせて下さい。県とのパイプ役。

- 明日の宇都宮・上三川のために
- 未来を担う若い世代のために
- そして ●安心して暮らせる社会と栃木県の発展のために

- 地域** 県都にふさわしいまちづくり
- 教育** 明日を担う子どもたちのために
- 農業** 農業の発展と安全・安心な食の推進
- 商工** 産業活性化と雇用の確保
- 医療** 福祉 安心して暮らせる社会のために
- 防災** 災害に強い地域づくりの推進
- 環境** 地球環境にやさしい社会の推進

# 五月女 ゆきひこ

そうとめ・裕久彦

●昭和28年(1953年)2月11日生まれ  
河内町立岡本小学校・河内町立古里中学校・栃木県立石橋高等学校・東京農業大学卒  
●栃木県経済産業協同組合連合会(現JA全農とちぎ)入会 施設部農住開発課長、園芸部資材課長  
●平成5年4月 栃木県議会議員初当選(4期)、農林常任委員会委員長、文教警察常任委員会委員長、県政経営常任委員会委員長、栃木県監査委員、栃木県農業改良推進協議会会長、栃木県漁業協同組合代表理事組合長、栃木県漁業協同組合代表理事副会長、栃木県内水面漁業振興議員連盟会長、栃木県バوندテニス協会会長、県農業会議常設審議委員会委員、羽黒山麓天まつり実行委員会顧問、スポルトかわち「Ship」顧問、栃木県パークゴルフ協会連合会顧問、西鬼怒川エコビレッジ推進委員会顧問、栃木県溶接協会顧問、栃木県バレーボール協会顧問、栃木県PRC顧問



自由民主党

そうとめ  
**五月女 ゆきひこ**

昭和28年2月11日生まれ・66歳

皆さまの声を県政に反映させます

## 栃木県民のために「やらねばならぬこと」が明確にあります。人へ現場へ走り続けます!

25年間の教員生活を投げ打って政治の場に飛び込み12年。ザンビア共和国や中国・アメリカ・カナダ等海外での活動や視察の中から「人づけは未来の仕事づくり」として捉え、地域の教育・文化はもちろん、産業や福祉振興に汗し、また、自らの経験からスポーツや芸術・文化が人びとの生活に感動と潤いを与え、様々なシーンを創り続けてきました。私の課題はより大きなものとなってきています。今、啓かれた自身が、さらに自らを磨き、栃木を、県民とともに磨きます。



### 横松もりと のプロフィール 籍根原区5区山登り・青年海外協力隊・教員25年

宇都宮市立城山中学校、県立宇都宮東高校、筑波大学卒業 宇都宮市大谷町在住

#### 【教員として】

- 宇都宮市立築小、一条中、若松原中、陽北中、鹿沼東中、旭中に勤務
- 元宇都宮市教職員協議会 会長

#### 【ボランティア活動として】

- 青年海外協力隊(アフリカ・ザンビア共和国に派遣)参加、アフリカ初の駅伝大会開催、「ザンビア通信」を発行し現地の窮状を訴え、宇都宮市内全中学校から約2万着の体育着を集めて寄贈
- 青年海外協力隊とちぎ応援団理事
- NPO法人とちぎユースワークカレッジ役員
- ネット・引きこもりなど若年無業者を支援
- 北方領土(国後島・択捉島)に基参

#### 【感動の栃木実現に!】

- 宇都宮市トレイルラン会長
- リレマランランまんちゅ(村大会)会長
- メヤラン・環状線1周ランニング会長
- ザ・メロポ/ランミュージック設立理事
- 若手演奏家の育成支援

#### 【ランナーとして】

- 箱根駅伝出場2回 5区(山登り)、3区を走る
- 東日本駅伝大会(青森・東京間駅伝)に県代表として出場
- 全国マスターズ陸上競技大会5000m優勝
- 全国青年陸上競技大会5000m優勝
- ※生涯現役をモットーに今も走り続けている

#### 【スポーツ監督として】

- 宇都宮市対抗駅伝大会宇都宮市チーム監督
- 23年ぶりの念願の総合優勝に導く(優勝3回、準優勝4回、3位3回)

【おもな役職】●県議会企業委員(H26)・生活保健福祉副委員長(H25.29)・農林環境委員長(H28)●県陸上競技協会会長●県テニス協会副会長●県ソフトテニス連盟顧問●県インテリア協会副会長●県ライフル射撃協会顧問●県銃剣道連盟顧問●宇都宮市視覚障がい者福祉協会顧問●県自衛隊家族会顧問●県産産産衛生衛生同業組合顧問●県食肉・機器生活衛生同業組合顧問

### 3期目に向けて重点政策

- 教育環境と生活環境の整備で生徒の学力向上を目指します
- スポーツ・文化・芸術の振興で、心震える感動のとちぎに
- 成長するチャンスをとちぎの子供・若者、そしてすべての県民に

#### 住み続けるとちぎ創りを

若者に魅力ある! AI産業の振興で、ものづくり栃木の飛躍づくりを  
次なる100年都市「とちぎ」創りを  
防災・減災対策、戦後公共施設再整備を  
を進め新たな公共事業の推進を

#### 農林産業の新ブランド戦略を

加工・業務用露地野菜作りの推進と、  
県産木・木材活用の更なる推進を  
栃木の人と文化の魅力を舞台に  
「2020東京オリンピックと  
「2022とちぎ国体」を「とちぎ」発信の場へ

よこまつ  
**横松もりと** が県民の皆様と共に実現させたもの

- 小学校少人数学級を拡大【教育】○県芸術祭新人賞創設【文化】
- 県立高校の生活環境改善 トイレの洋式化・空調整備、部室改修【教育】
- 栃木県東京学生寮の2022年建て替え決定【教育】
- 総合スポーツゾーン整備に競技団体や県民の声を届けて要望実現【スポーツ】
- オリンピックの外国選手誘致提言、ハンガリー陸上競技選手団キャンプ地に繋ぐ【国際】
- 栃木県職員採用試験に点字・拡大文字(視覚障がい者用)による受験を導入【福祉】
- 加工・業務用露地野菜づくりの提言と推進 ○栃木のいちごを広島県でPR販売実施【農林業】
- 「とちぎの元気な森づくり県民税」総務を農林環境委員長として取りまとめ【農林業】
- 委川の拡幅整備と治水対策を加速【災害対策】
- 武名瀬川(上三川町)の拡幅整備を加速、事業費を約3倍に増加【災害対策】



自由民主党

よこまつ  
**横松もりと**

昭和33年4月15日(60歳)